

勉強会レポート 「やさしさあふれる日本語の世界」

文化放送のアナウンサー指導者で話のプロである竹内靖男アナをお招きし、昨年11月と今年3月の2回にわたり勉強会が開催されました。

初回の「人の心を汲み取る会話術」「発声、発音、滑舌訓練法」「コミュニケーションの磨き方」では、竹内アナの豊富な人生経験から次々と飛び出てくるトピックスが非常に興味深く、参加者全員が釘付けになる程でした。

基礎編

話は、特に竹内氏が強調されていた「声は人なり」の原点を抑えた具体的な発音の実践、迷子にならない話し方、大切にしている座右の銘まで多岐に渡りました。

とりわけ心に残ったのは、帰国子女の日本語の美しさはなぜかという話で、外国で暮らす日本人がいかにか日本文化を大切に守りながら生活して来たかを窺い知ることができました。また、言語力の停滞は国の衰退と正比例すると言われますが、正しい日本語が失われない様にみんなが日本語を守る努力の必要性を認識する事が重要と警鐘を鳴らされていました。

自分を理解して貰い、自分の思いを伝えたくても、真意が正しく伝えられず歯がゆく思い、その難しさに苦い経験をされている方は多いと思いますが、その方々にとって「ら抜き言葉、言葉の音の距離感、早口言葉」についての丁寧で分かりやすい説明は、悩みを解決する有益なヒントとなりました。

実践編

初回は、孔子の「最大の名誉は倒れない事では無く、倒れるたびに起き上がることである」という座右の銘で結ばれ、プロの話術の巧みに魅了されましたが、引き続き開催された第2回目は、竹内氏の実践を交えたコミュニケーションカアップに加え、サークルi元開副代表がフィジカルな口腔のメカニズムを通して口腔の神秘に迫りました。

